

東藤島こうみんがんだより

●人口 3,564人(男1,742 女1,822) ●世帯数 1,322戸(令和5年11月1日)
令和5年12月10日 福井市藤島町48-1-1 東藤島公民館 TEL54-0039 hfujik@mx1.fctv.ne.jp

一年を振り返って

東藤島自治会連合会 会長 高橋 健二

師走の候、地区の皆様におかれましては、お元気で過ごしのことお慶び申し上げます。また、日ごろより公民館活動、地区活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、2019年末から広がり始めたコロナ感染も、今年度5月にようやく5類に移行し、徐々に感染者数も減少してきました。今年度は、地区体育祭は中止となりましたが、ふれあいサマーデーや健康ウォーク大会、敬老会や文化祭等は、感染対策を考慮した上で実施することができました。徐々にではありますが、感染前の状態に戻りつつあること、大変嬉しく思っています。また今年度は、市議会選挙もあり皆様方のご協力のお陰で八田一以氏が当選

され、地区の代表として市議会の場で活躍頂けること、合わせて皆様にお礼申し上げる次第です。

ところで、コロナ禍においては、経済的な影響が大きかったことに加え、様々な制限の中で人と人との繋がりが希薄になったことも大きな損失でした。皆様もお互いの繋がりの大切さを再認識されたのではないのでしょうか。

最後になりますが、来年度は地区行事や各町内での行事が以前のように再開され、ますます地区が発展して行くことと皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、一年を振り返っての挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

表彰おめでとどうぞございます

福井市社会教育功労者表彰
教育委員会表彰

公民館運営審議会 森木幸一さん

福井県公民館連合会表彰

公民館主事 木村雅美さん

学級通信 なかよしぐみ

11月10日の学級では、セーレンプラネットによる「出張☆星空教室」が行われました。晴れていれば、公民館の屋上に天体望遠鏡を設置して木星と土星を観察する予定でしたが、あいにくの雨となったため、室内でのお話となりました。

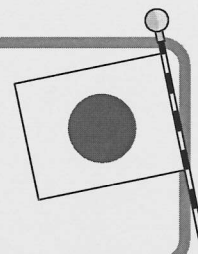
プロジェクターを使って当日の夜空を再現した

プラネタリウムのような空間の中で、星座のお話や惑星と恒星のお話をお聞きしました。また、自分が生まれた日の星空を再現したり、室内に設置した天体望遠鏡をのぞいたり、ワクワクするような体験もでき、「次に星空を見るのが楽しみ」と思える時間となりました。

あいさつで みんな笑顔の 町づくり 東藤島小児童作品

祝日には忘らずに
国旗を掲げよう!

1月1日(月)元日
1月8日(月)成人の日



公民館休館日

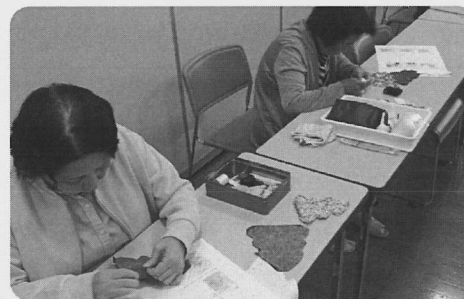
12月11日(月)・17日(日)・18日(月)・25日(月)
29日(金)・30日(土)・31日(日)
1月1日(月)・2日(火)・3日(水)・7日(日)
8日(月)・9日(火)

学級通信 「四季折々^{がく}楽」クリスマスツリーをつくらう!

11月11日の学級では、手縫いで簡単にできるクリスマスツリーを作りました。クリスマスカラーの3色の布を並縫いで縫い合わせ、パッチワーク風に仕上げます。仕上がりは、高さ15cmほどのコンパクトで可愛いツリーです。当日は思いのほか時間がかかってしまい最後まで縫いあげることができませんでしたが、各自持ち帰り世界に一つだけの作品を

仕上げました。

参加者からは、「楽しかったけど思ったより細かい作業で時間がかかってしまいました。出来上がった作品に満足です。」「縫うのがうまくいかず苦労しましたが、家に飾っておきます!」などの感想をいただきました。



学級通信 ハンドメイドボランティア

10月29日に開催された地区文化祭では、展示ブースの一角を利用し、タオルケア帽子づくりの活動報告をさせていただきました。

フェイスタオル1枚で完成する「タオルケア帽子」が、必要とされている患者様のもとへ届けられていく過程や、タオルケア帽子づくり以外のボランティア事業について紹介をしました。

この活動を始めて5年が経ちますが、このようなボランティア活動をご存じなかった方もいらっしゃいます。その方々をはじめ、今回出品したチャリティー品をご購入いただいた方など多くの方々に「タオル

ケア帽子」をご覧いただきました。これにより、「タオルケア帽子」づくりの活動の内容をよく知っていただけたとメンバー一同大変嬉しく思っています。

この日、皆様からお預かりした「温かいお気持ち」は、おかげさまで11,727円となりました。これは材料となるフェイスタオルの購入費となります。メンバーで皆様のお気持ちも一緒に込めて「タオルケア帽子」をひと針ひと針丁寧に仕上げ、患者様へと繋げていきたいと思っております。

ご協力ありがとうございました。



重点目標 あいさつ・国旗掲揚・環境美化



くらしの提言

駐在所だより

☆国際電話による詐欺が急増中!

「+1」や「+44」などから始まる電話番号は、国際電話による着信です。

最近、国際電話の犯罪利用が急増しています。このような表示の電話には出ない、かけ直さないよう、ご注意ください。

海外との通話が不要な方は、国際電話の発信・着信を無償で休止できます。

※固定電話・ひかり電話が対象です。その他にも一定の条件があります。

お申し込み・お問い合わせ先:

国際電話不取扱受付センター
電話番号 0120-210-364(通話料無料)
取扱時間
(オペレータ案内)平日9:00~17:00
(自動音声案内)平日、土日祝日24時間

☆タイヤの盗難に注意!

タイヤの交換時期には、保管していた冬用タイヤや交換後の夏用タイヤが盗まれる被害が増加する傾向にあります。

一般住宅のカーポートや駐車場など、外から見える場所にタイヤを放置すると盗難被害に遭うおそれがあります。

タイヤは施錠設備のある倉庫などで保管するか、チェーンで固定するなど盗難対策を講じて保管するようお願いします。

不審者や不審な車を見かけたら、迷わずすぐに110番通報してください。

年末特別警戒

12月9日(土)

防犯パトロール

12月16日(土) 午後7時~9時

年末防犯パトロール

12月29日(金)~31日(日)

移動図書館

「あじさい号」巡回日

1月10日(水)11:00~11:20



老人会主催

「スティックリング大会」開催

11月11日(土)に東藤島小学校体育館を会場として、老人連合会主催の第12回スティックリング大会が開催されました。9町内、15チームが参加し、ゲームを楽しみました。結果は、次の通りです。

【優勝】藤島 A チーム

【準優勝】北野上 A チーム

【第3位】原目チーム

【第4位】藤島 B チーム

スポーツ協会だより

10月22日(日)福井カントリーで第25回ゴルフ大会が開かれました。全部で8町内17名の方々にご参加いただきました。

結果は以下のとおりです。

団体の部

【優勝】大和田町

【準優勝】追分町

【第3位】原目町

個人の部

【優勝】泥川 清喜さん

【準優勝】野村 信治さん

【第3位】高原 憲雄さん

竹内 正直さん

おめでとうございます。

11月5日(日)東藤島小学校で第29回ソフトバレーボール大会が開かれました。全部で4町内参加いただき、にぎやかな大会となりました。

結果は以下のとおりです。

【優勝】上中町

【準優勝】重立町

【第3位】堂島町・追分町

おめでとうございます。

11月19日(日)に第16回秋のふれあいスポーツデーとして、第28回インディアカ大会が東藤島小学校体育館において行われました。4町内参加いただき、にぎやかな大会となりました。

結果は以下のとおりです。

【優勝】追分町

【準優勝】藤島町

【第3位】上中町・堂島町

おめでとうございます。



福井市東消防署

東分署からのお知らせ

これからの季節は、暖房器具を使用する機会が増え、同時に火災が発生しやすくなる時期でもあります。暖房器具を使用する際は以下のことに注意し安全に取り扱ってください。



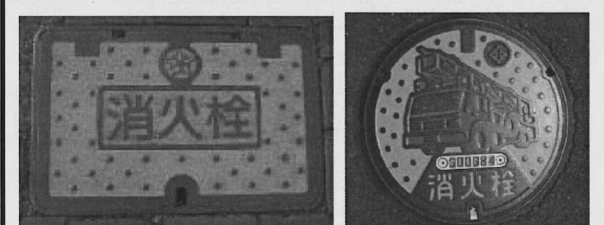
- 暖房器具への給油は、必ずスイッチを切り、消火を確認した後に行う
- 暖房器具の周りに燃えやすい物を置かない(洗濯物・布団・毛布など...)
- 暖房器具の上に洗濯物を干さない
- 暖房器具の周りで、アルコール消毒液や、スプレー缶を使用しない
- 暖房器具は点火した状態で移動しない
- 取扱説明書の内容を把握し正しく使用する

消防署からのお願い

『積雪時の消火栓周りの除雪について』

消火栓や防火水槽の上に雪が積もると、消火活動等に支障をきたします。

積雪時は**消火栓及び防火水槽周りの除雪**にご協力をお願いします。



歩道や道路に設置される消火栓



公園や空地に設置される防火水槽

【お問い合わせ】
福井市東消防署 東分署 ☎57-0119
災害場所の問い合わせ ☎25-9999
火災、救急は「119」番
救急車は、緊急性の高い怪我や病氣などに
利用してください。



子どもたちに残したい 美しい日本の歌



荒城の月

土井 晩翠 作詞
瀧 廉太郎 作曲

- 1 春高樓の花の宴
めぐる盃影さして
千代の松が枝わけいでし
むかしの光いまいすこ
- 2 秋陣営の霜の色
鳴きゆく雁の数見せて
植うるつるぎに照りそいし
むかしの光いまいすこ
- 3 いま荒城の夜半の月
替らぬ光たがためぞ
垣に残るはただ葛
松に歌うはただ嵐
- 4 天上影は替らねど
栄枯は移る世の姿
写さんとてか今もなお
ああ荒城の夜半の月

東京音楽学校では、唱歌集「中学唱歌」【明治34(1902)年 同校】を編集するにあたって、文化人たちに作詞を依頼しました。「荒城の月」は、このとき文学者で旧制第二高等学校(現・東北大学)の教授でもあった土井晩翠(明治4~昭和27)から寄せられた詩のうちのひとつです。もとは「荒城月」というタイトルでした。晩翠は戊辰戦争の激戦地として知られる福島・会津の鶴ヶ城からこの詩の着想を得たほか、仙台の青葉城をもイメージして作詞しました。芭蕉の「夏草や兵どもが夢の跡」など多くの古典文学を踏まえたものでしょうか。日本文化の伝統である滅びの美意識を巧みに表現しています。

音楽学校では、こうして寄せられた詩につける曲を募集したところ、同校の学生であった瀧廉太郎(明治12~明治36)の曲が入選しました。廉太郎は子ども時代をすごした大分・竹田の岡城をイメージしながら、日本の伝統的な音階を活かして寂寥感あふれる名曲に仕上げています。なお、いま歌われている曲譜は、音楽家の山田耕筰が八分音符を四分音符に改めるなどして、ゆったりと歌いやすいように工夫したものです。

【エピソード】この曲は、私が子どものころ、風邪をひいて病院へ行くとき母に歌ってもらった曲です。その時分には家には車がまだなく、バスで病院に連れて行ってもらっていたのですが、せがむ私に、バスに乗るまで何度も繰り返し歌ってくれました。具合が悪かったけれども、いつもは忙しい母と一緒に出かけられるうれしさ、普段は厳しい母が歌ってくれるうれしさ、何度せがむ私の甘えている気持ちに添えてくれているうれしさでいっぱいでした。この年齢になっても、ふとしたときに思い出しては心が温かくなり自然に涙が出てきます。

(神奈川県横浜市 30代 女性)

参考資料:「親子で歌いつごう日本の歌百選」(文化庁編)